様式３(2015.06改)

作成日　平成31年2月24日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002382
事業所名	グループホームさっちゃんの家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	お祭りのバザーには物品を寄附するとともに、地域の避難集合場所として駐車場を提供しており、キャベツの産地とあって近隣からの野菜のおすそ分けもあります。また市内の中学校の福祉体験を受入れる登録事業所となり、6中学校から延べ23名の生徒が累計で8日間ほど利用者に関わってくださっています。お好み焼きを一緒に作ったりしてふれあい、笑顔になるのは無論のこと、普段見せない表情となることは職員にも嬉しい1日となっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は、「外部の人が事業所に訪れてくださる貴重な機会」と位置づけて真摯にり組み、奇数月開催と定めて隔月実施につなげています。特に老人会からは役員が交代となってもバトンをつないでの協力を得ており、事業所では大変感謝しています。転倒事故などがあった場合には詳らかに報告をおこなうとともに、その他迷うことがあればメンバーから指導や助言が得られています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	豊橋市主宰の「認知症を考える会」には、管理者（法人代表者）が積極的に参加し、「地域の認知症の窓口」としての責任を果たそうと努めています。また豊橋市の「子育て応援企業」にも認定されるとともに、「赤ちゃん駅（授乳、おむつ替え、トイレ等を提供するママさん応援事業）」にも登録していますが、事業所の周囲は親子が通るといった様子がほとんどないため、事業所を知ってもらうための方策を現在模索中です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	面会時間の制限を設けず開放的な対応を旨としており、日に1、2名の面会者が来所しています。また遠方など理由があって足が遠のいている家族とも情報共有できるよう、毎月「さっちゃんだより」を家族に届けています。一つひとつのことを丁寧に取組んでいるとの自負が事業所にはあり、その気概が利用者家族や関係者に広まっているのか、入居待ちが20名余というのは驚きの数字です。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	